

医療コミュニケーション学・演習

Medical Communication

薬：F2-01402MY

医療科目 4年／前・後期 1単位 必修科目

科目責任者 常住 亜衣子(医療コミュニケーション学研究室)

■教育目的

コミュニケーション能力は薬学修得、薬剤師の職能発揮に必須の能力です。本授業では、医療においてコミュニケーションが果たす役割の理解、薬剤師が患者や他の医療従事者等と人間関係を構築し、その意思決定を支援する方法の修得を目的とします。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、④】

■学習到達目標

1. 的確な情報伝達により、患者との間に人間関係を構築できる(知識、技能、態度)
2. 対人関係に関わる心理的要因、自己・他己への理解を深め、患者の心理等に配慮できる(知識、技能、態度)
3. コミュニケーションスキルを活用し、円滑な双方向型コミュニケーションがとれる(知識、技能、態度)
4. 良好なコミュニケーションを通じ、患者の意思決定、QOL 向上を支援できる(知識、技能、態度)
5. 多職種連携の重要性を理解し、医療専門職と協力して質の高い医療の提供に貢献できる(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書、配布資料等の精読、医療面接演習の準備(60分～) 復習：授業内容の確認(60分～)

■授業形態

グループワーク、実習・フィールドワーク、双方向型授業（ICT活用）、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	医療コミュニケーションの基礎	医療コミュニケーションとは何か	A(3)-①-1,2
2	自己概念と自己評価	コミュニケーションの主体である自己を理解する	A(3)-①-4,6
3	プロフェッショナリズム	医療専門職としての自己を理解する	A(1)-①-1～3
4	他者との関わり	コミュニケーションの相手である患者を理解する	A(3)-①-3～5
5	積極的傾聴のスキル	患者の話を聴くための基本的な態度とスキル	A(3)-①-7
6	質問のスキル	情報収集、双方向型コミュニケーションのためのスキル	A(3)-①-5,7
7	共感	共感、共感的態度 講演：患者講師による病気体験	A(3)-①-6, A(3)-②-2
8	情報提供のスキル	情報提供のためのスキル、ヘルスリテラシー	A(3)-①-8
9	ナラティブコミュニケーション	患者の語りと科学的根拠に基づく医療・ケアの融合 演習：ナラティブ・ベイスト・メディスン	A(2)-③-1, A(3)-①-5 ～9, A(3)-②-2
10	行動変容を促すコミュニケーション	健康行動理論、ヘルスリテラシーと健康の関連 演習：健康行動理論に基づく患者支援	A(2)-③-1 A(3)-①-9
11	悪い知らせを伝える際のコミュニケーション	患者の心情に配慮したコミュニケーション 演習：SPIKES プロトコルの活用	A(3)-①-5～9 A(3)-②-2
12	多職種連携のためのコミュニケーション	アサーティブコミュニケーション 演習：DESC 法	A(1)-①-3, A(3)-①-8,9, A(4)-4,5
13	リスクコミュニケーション	多職種連携におけるリスクコミュニケーション 演習：Team STEPPS の活用	A(1)-①-3, A(3)-①-8,9, A(4)-4,5
14-15	医療面接演習	模擬患者との医療面接	

■授業分担者

常住亜衣子(No.1～15)、外部講師(No.7)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

成績評価方法：医療面接演習(50%)、期末試験(50%) 課題のフィードバック：医療面接演習は、評価を個別に開示します。

■教科書

日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会「ファーマシューティカルコミュニケーション」(南山堂)

■参考書

石川ひろの「保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門」(大修館書店)